

2014年1月22日

株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院
ニュートン・コンサルティング株式会社

医療機関主体の実働連携訓練として国内最大規模

新型インフルエンザ BCP 想定 「ひたちなか市ストリートワイド訓練」実施

株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院（所在地：茨城県ひたちなか市、院長：永井庸次、以下「ひたちなか総合病院」）は、2014年1月21日、ニュートン・コンサルティング株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：副島一也、以下「ニュートン・コンサルティング」）の企画・運営支援のもと、「平成25年度新型インフルエンザ対策初期対応訓練 ―ひたちなか市ストリートワイド訓練―」（以下「当訓練」）を実施しました。

当訓練は、「新型インフルエンザの海外発生期」における政府対策本部の基本的対処方針の決定後、ひたちなか市内における新型インフルエンザ第1号患者発生を想定し、疑い患者の搬送や病院の受け入れなどを模擬的に実施したものです。当訓練の参加組織は、ひたちなか総合病院をはじめ、茨城県、ひたちなか市、ひたちなか保健所、ひたちなか市医師会、ひたちなか薬剤師会、日立オートモティブシステムズ株式会社です。当訓練は各現場において同時並行的に実施され、医療機関が主体となる実働連携訓練としては国内最大規模のものとなりました。

ひたちなか総合病院は、ニュートン・コンサルティングが経済産業省より受託し、運営事務局を務めている「事業継続等の新たなマネジメントシステム規格とその活用等による事業競争力強化事業」に地域グループとして参加し、「地域を護る病院」として、新型インフルエンザパンデミックに対する官民協働のBCMS構築に取り組んでいます。

なお、当訓練は、同日に内閣官房新型インフルエンザ等対策室が行う「平成25年度新型インフルエンザ等対策訓練」に連携して実施され、同様に連携して実施される関係省庁・都道府県・指定公共機関の諸訓練のひとつです。

【株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院 概要】

1945年1月、株式会社日立製作所の企業立病院として開設。2010年に「地域を護る病院」としてリニューアルし、災害拠点病院、二次救急病院、第二種感染症指定医療機関、地域医療支援病院、臨床研修指定病院等の機能を有している。人口約40万の茨城県常陸太田・ひたちなか二次医療圏に属し、人口20万人のひたちなか市、東海村地区唯一の総合病院として地域医療を担っている。302床の中規模の病院であるが、常日頃から「急性期機能に重点を置いた地域完結型医療」を、地元医師会、隣接する水戸医療圏内の病院、県内にある日立製作所関連の2病院・2施設との連携の下に強力に進めている。

【ニュートン・コンサルティング株式会社 概要】

2006年11月、英Newton ITの日本法人として設立。リスクマネジメントに特化したコンサルティングファームとして豊富な実績を有する。特に事業継続(BCP/BCM)、ITガバナンス、ISO認証取得、ERM構築の分野に注力。

【サポート実績】

British American Tobacco、Global Forex Trading、アクテリオンファーマシューティカルズジャパン、株式会社大塚商会、東京ガス株式会社、東京都BCP策定支援事業、茨城県BCP策定支援事業、積水化学工業株式会社、豊田通商株式会社、NTTスマートコネクスト株式会社、他

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院

担当：事務長 飯嶋 TEL：029-354-5111(代表) E-Mail：kazuhide.iijima.nj@hitachi.com
ニュートン・コンサルティング株式会社

担当：内海、村田、吉田 TEL：03-3239-9209 E-Mail：meti@newton-consulting.co.jp

平成 25 年度新型インフルエンザ対策初期対応訓練 —ひたちなか市ストリートワイド訓練— 概 略

1. 訓練名称

平成 25 年度新型インフルエンザ対策初期対応訓練 —ひたちなか市ストリートワイド訓練—

2. 訓練実施日時

2014 年 1 月 21 日（火）13:30～16:00

3. 参加組織

茨城県、ひたちなか保健所、ひたちなか市、ひたちなか総合病院、ひたちなか市医師会、ひたちなか薬剤師会、日立オートモティブシステムズ株式会社

※シナリオに従い、各現場にて同時並行的に実施

4. 訓練シナリオ概略

(1) シナリオ 0——海外で鳥インフルエンザ感染者が発生

Y 国（仮想）にて鳥インフルエンザ（A/H7N9）感染者が発生。WHO がヒト-ヒト感染を認め、「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（PHEIC）」を公表。国は政府対策本部を設置、都道府県・関係省庁を通じて指定公共機関へ基本的対処方針等を連絡。

※ ここまでが内閣官房新型インフルエンザ等対策室が行う「平成 25 年度新型インフルエンザ等対策訓練」の内容になり、以下は「ひたちなか市ストリートワイド訓練」の内容になります。

(2) シナリオ 1——ひたちなか総合病院に帰国者・接触者外来を設置

上記を受け、茨城県は帰国者・接触者相談センター及びコールセンターの設置、並びに、医療機関に対する帰国者・接触者外来の設置要請をひたちなか保健所に指示。ひたちなか総合病院では保健所からの要請を受けて帰国者・接触者外来の設置準備を進める。

(3) シナリオ 2——日立オートモティブシステムズ株式会社工場内で帰国者が発熱

同社構内診療所にて新型インフルエンザの疑われる者が発生し、保健所へ電話相談。病院に設置された帰国者・接触者外来へ車両で個別管理搬送。同病院は新型インフルエンザの疑われる者の検査を実施し、保健所は採取した検体の搬送を実施。

(4) シナリオ 3——疑い者受け入れと対応

病院では動線確保を行った上で感染症陰圧室に患者を収容。結果確定後を想定し、日立オートモティブシステムズ株式会社では濃厚接触者リストを作成。

当日の訓練風景写真を以下の場所で公開いたします。
<http://www.newton-consulting.co.jp/hitachinaka2010121>

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
